

第 3 章 指導行政

第 3 章 指導行政

第 1 節 教科書の採択・無償給与

1 教科書の採択

(1) 小学校の教科書

令和 3 年度使用の教科書は、令和元年度に採択替えされた。

令和 3 年度小学校用教科書発行者状況（令和 2 年度～令和 5 年度使用）

採択地区 種 目	国 頭	中 頭	那 覇	島 尻	宮 古	八 重 山	竹 富
国 語	教 出	光 村	光 村	東 書	東 書	教 出	光 村
書 写	教 出	光 村	教 出	光 村	光 村	教 出	光 村
社 会	教 出	教 出	教 出	教 出	教 出	教 出	東 書
地 図	帝 国	帝 国	帝 国	帝 国	帝 国	帝 国	帝 国
算 数	東 書	学 図	啓林館	東 書	東 書	東 書	東 書
理 科	啓林館	東 書	東 書	教 出	啓林館	教 出	学 図
生 活	啓林館	教 出	学 図	教 出	日 文	大日本	日 文
音 楽	教 出	教 芸	教 芸	教 出	教 芸	教 芸	教 芸
図画工作	日 文	日 文	日 文	日 文	日 文	開隆堂	開隆堂
家 庭	開隆堂	開隆堂	東 書	開隆堂	東 書	開隆堂	開隆堂
保 健	光 文	光 文	東 書	光 文	東 書	東 書	学 研
英 語	教 出	教 出	啓林館	光 村	東 書	開隆堂	光 村
道 徳	日 文	光 文	学 研	東 書	光 文	日 文	日 文

(2) 中学校の教科書

令和3年度使用の教科書は、令和2年度に採択替えされた。

令和3年度中学校用教科書発行者状況（令和3年度～令和6年度使用）

採択地区等 種目	国頭	中頭	那覇	島尻	宮古	八重山	竹富	与勝 緑が丘	球陽	開邦
国語	三省堂	三省堂	光村	光村	東書	東書	東書	三省堂	三省堂	光村
書写	教出	東書	東書	東書	東書	教出	東書	東書	東書	光村
社会(地理)	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国
社会(歴史)	東書	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国
社会(公民)	東書	帝国	東書	東書	帝国	育鵬社	帝国	帝国	帝国	帝国
地図	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国
数学	啓林館	東書	東書	東書	東書	東書	教出	数研	数研	大日本
理科	啓林館	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	啓林館
音楽(一般)	教出	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸
音楽(楽器)	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教出	教芸	教芸	教芸
美術	日文	光村	日文	日文	光村	日文	日文	日文	光村	開隆堂
保健体育	学研	東書	学研	東書	学研	学研	学研	東書	東書	大修館
技術	教図	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	開隆堂
家庭	教図	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	開隆堂
英語	光村	光村	教出	開隆堂	光村	開隆堂	三省堂	光村	光村	三省堂
道徳	光村	日文	日文	日文	光村	日文	日文	東書	日文	光村

(3) 学校教育法附則第9条の規定による一般図書の採択

令和4年度使用の公立小・中学校の特別支援学級及び特別支援学校用教科書として採択された一般図書は次のとおりである。

(国語)

発行者	図書名
偕成社	五味太郎・しかけ絵本1 きいろいのは ちょうちよ
偕成社	エリック・カールの絵本 はらぺこあおむし
グランママ社	つちだよしはるの絵本 ことばえほん
好学社	レオ・レオニの絵本 スイミー ちいさなかしこいさかなのはなし
戸田デザイン研究室	あいうえお えほん
戸田デザイン研究室	カタカナ絵本
同成社	「ゆつくり学ぶ子のための こくご 入門編(ひらがなの読み書き)
同成社	ゆつくり学ぶ子のための こくご1 ひらがなのことば・文・文章の読み
同成社	ゆつくり学ぶ子のための こくご2 かたかな・かん字の読み書き
同成社	ゆつくり学ぶ子のための こくご3 文章を読む、作文・詩を書く
東洋館出版社	くらしに役立つ国語
点字学習を支援する会	点字導入学習プログラム
同成社	:ゆつくり学ぶ子のための こくご入門編1 改訂版 表象形成・音韻形成・発声・発音
こぐま社	柳原良平「やさいだいすき」
文研出版	谷川俊太郎・元永定正「もこもこもこ」
ブロンズ新社	かがくいひろし「だるまさんの」
ひさかたチャイルド	「おーいかばくん」
文部科学省著作教科書	こくご☆ こくご☆☆ こくご☆☆☆

点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学1年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学2年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学3年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学4年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学5年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学6年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(常用漢字 中学校編)墨字版

(社会)

発行者	図書名
偕成社	木村裕一しかけ絵本12 げんきにごあいさつ
学研	はっけんずかん のりもの(改訂版)

東洋館出版社	くらしに役立つ社会
帝国書院	「みんなの地図帳～見やすい・使いやすい～」
三省堂	「こども マナーとけいご絵じてん 小型版」
偕成社	「きみが考える・世の中のしくみ①政治ってなんだろう？」
小学館	ドラえもん ちずかん2 せかいちず
JamHouse	「最新版 親子で学ぶ インターネットの安全ルール 小学生・中学生編」
日本教育研究出版	ひとりだちするためのトラブル対策 予防・回避・対処が学べる

(算数・数学)

発行者	図書名
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」1(量概念の基礎、比較、なかま集め)
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」2(1対1対応、1～5の数、5までのたし算)
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3(6～9のたし算、ひき算、位取り)
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4(くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算)
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」5(3けたの数の計算、かけ算、わり算)
ひさかたチャイルド	わらべきみかのスキンシップ絵本5 かずのえほん
偕成社	(エリックカールの絵本)かずのほん 1、2、3どうぶつえんへ
小学館	21世紀幼稚園百科かずあそび 1・2・3
東洋館出版社	くらしに役立つ数学
小学館	ドラえもんとおぼえよう！とけいのえほん
日本教育研究出版	ひとりだちするための算数・数学
文部科学省著作教科書	さんすう☆ さんすう☆☆(1) さんすう☆☆(2) さんすう☆☆☆

(理科)

発行者	図書名
新星出版	沖縄のセミ
ひかりのくに	改訂新版 体験を広げるこどものずかん1 どうぶつえん
沖縄時事出版	沖縄の理科3年
ひかりのくに	改訂新版 体験を広げるこどものずかん8 あそびのずかん
沖縄時事出版	沖縄の理科4年
東洋館出版社	くらしに役立つ理科
パイインターナショナル	はじめてのほしぞらえほん
パイインターナショナル	はじめてのうちゅうえほん
沖縄時事出版	『沖縄の理科 5年』
フレーベル館	『NATURAふしぎをためす図鑑1 かがくあそび』
フレーベル館	『NATURAふしぎをためす図鑑2 しぜんあそび』

(音楽)

発行者	図書名
新星出版社	クラシック名曲45選
ベネッセコーポレーション	すてきなピアノえほんDX(たまひよ音楽遊び)
くもん出版	CD付き 楽器カード
ひかりのくに	どうようおえかきできる どうようNEW絵かきうたブック
サーベル社	おんぷのおえかきワークブック3(えかきうたつき)
朝日新聞出版	うたおう♪はなそう!おうた&ことばタブレット
miki house	ポカポカフレンズのおんがくえほん もっきん
音楽センター	手話でうたうこどものうたベスト
教育芸術社	5訂版歌はともたち
成美堂出版	音と光のでる絵本いっぱいスイッチ
文部科学省著作教科書	おんがく☆、☆☆、☆☆☆、 音楽☆☆☆☆、☆☆☆☆☆

(図工・美術)

発行者	図書名
ブロンズ新社	らくがき絵本 五味太郎50%
戸田デザイン研究所	6つの色
福音館書店	つくるたのしみ あそびのレシピ
学研	あそびのおうさまBOOK めって
岩崎書店	紙ねんどあそび
学研	あそびのおうさまBOOK はって
ポプラ社	いろ いろ いろのほん
岩崎書店	あそびの絵本6 ねんどあそび
小学館	ひらめき美術館(第1館)
小学館	ひらめき美術館(第2館)
小学館	ひらめき美術館(第3館)
大日本図書	いろいろバス
NHK出版	ノージーのひらめき工房工作 レッツ工作ピクニック
理論社	つくってみよう へんてこピープル
グラフィック社	アートであそぼうおえかきレッスンわくわくワーク
東京書籍	ブルック・ディジョバニ・エバンス/笥菜奈子訳みつめて!アートたんでい よくみて、さがして、まなぼう
あすなろ書房	谷山彩子作文様えほん
保育社	中島祐司(訳)アートって何だろう はじめてアートに出会う本
ブロンズ社	五味太郎(著)らくがきえほんPART2 五味太郎25パーセント

(体育・保健)

発行者	図書名
偕成社	できるかな?あたまからつまさきまで
金の星社	やさしいからだのえほん4 むしばはどうしてできるの?
偕成社	おきがえあそび
偕成社	ひとりでうんちできるかな
金の星社	ちびまるこちゃんのあんぜんえほん ほらあぶないよ!けが・やけど
ひかりのくに	ひとのからだ
少年写真新聞社	大切なからだ・こころ
童心社	おおきくなるっていうことは
ほるぷ出版	うんこダスマンたいそうCDつき
エイデル研究所	あっ!そうなんだ!性と生 幼児・小学生そしておとなへ
ポプラ社	じょうずに およげる!(うんどうがすきになる絵本)
朝日新聞出版	たのしいうんどう
三省堂編集所	こどもスポーツ絵じてん
福音館書店	ぺんぎんたいそう
ひさかたチャイルド	スキップスキップ
国土社	運動ができる すきになる本 1 かけっこ
国土社	運動ができる すきになる本 4 ボールなげ
国土社	運動ができる すきになる本 5 すいえい
福音館書店	きゅうきゅうばこ
木楽舎	宇佐美吉啓 ダンスアース
エイデル研究所	中野久恵、星野恵、あっ!そうなんだ!わたしのからだ
世界文化社	中川ひろたか あらいくん(ユーモアせいかつ絵本・てあらい)
世界文化社	にしもとおさむ からだのふしぎ けがとびょうきのナゾ
くもん出版	レイチェル サンダース みえた!からだのなか
チャイルド社	近藤えり コロナウイルスのころなっちとぼく
ポプラ社	田中六大 ボールを遠くになげられる!(うんどうがすきになる絵本)
金の星社	オリンピック選手になりたいな
ポプラ社	つきおかゆみことびばこがとべる!(うんどうがすきになる絵本)
ポプラ社	さかあがりができる!(うんどうがすきになる絵本)

(職業・家庭)

発行者	図書名
国土社	ルールとマナーを学ぶ 子ども生活図鑑 ①家庭生活編
金の星社	たべるのだいすき みんなげんき
福音館書店	ただいまお仕事中 大きくなったらどんな仕事をしてみたい?
ひかりのくに	たべもの202

ブロンズ新社	しごとば
日本教育研究出版	ひとりだちするための進路学習
開隆堂出版	「楽しい職業科」わたしの夢につながる
開隆堂出版	「楽しい家庭科」わたしのくらしに生かす
ブロンズ新社	続 しごとば
東洋館出版社	くらしに役立つ 家庭
全障研出版部	くらしの手帳 おとなとしてゆたかに生きるために
(株)ブロンズ新社	続々しごとば
岩崎書店	一人前になるための家事の図鑑
ジアース教育新社	新・見てわかるビジネスマナー集
ジアース教育新社	見てわかる社会生活ガイド集
子どもの生活を考える会	ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑②学校生活編
子どもの生活を考える会	ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑③地域・社会生活編
子どもの生活を考える会	ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑④人間関係編
日本教育研究出版	ひとりだちするためのライフキャリア教育

(英語)

発行者	図書名
成美堂出版	絵で学ぶ 小学生の英語レッスン(CDつき)
朝日新聞出版	音でる♪知育絵本 あいうえおABC タブレット
mpi	子供のための英語で自己表現ワーク1
mpi	子供のための英語で自己表現ワーク2
mpi	子供のための英語で自己表現ワーク3
mpi	The Very Hungry Caterpillar CD付絵本
ラボ教育センター出版局	英日CD付 三匹のやぎのがらがらどん
数研出版	小学英語の基礎を固める「学ぼう！英語」単語・発音・アルファベット
戸田デザイン研究室	ABCえほん
金の星社	ABCのえほん
小学館	『ドラえもん はじめての英語ドリル』(CD付) 基本の英語表現
小学館	『ドラえもん はじめての英会話辞典』(タッチペン付) 基本の英語表現

(道徳)

発行者	図書名
(株)少年写真新聞社	きもち
小学館	マンガでわかる よのなかのルール
偕成社	ハンタン ぶらんこのせて

偕成社	ハンタン ぱっぱらばなし
株式会社 金の星社	おうち
旺文社	学校では教えてくれない大切なこと2 友だち関係 ～自分と仲良く～
文溪堂	わたしは あかねこ
講談社	かつくん どうしてボクだけしかくいの？
講談社	バーバパパのはこぶね
BL出版	わにくんのおおきなあし
自由国民社	どんなかんじかなあ
偕成社	ありがとうのえほん
サンマーク出版	いのちのまつり ヌチヌグスージ
鈴木出版	新・10歳からのルール100①友達・学校のルール
日本図書センター	高濱正伸 『おやくそくえほん:はじめての「よのなかルールブック」』
金の星社	WILLこども知育研究所みんなのきもちがわかるかな？おもいやりの絵本
福音館書店	さくら
廣濟堂あかつき	みずやりとうばん
廣濟堂あかつき	あったかいな

2 教科書の無償給与

令和3年度も、小学生・中学生・特別支援学校（小学部・中学部）の児童生徒に対し、教科用図書の無償給与が行われた。

その状況は、次のとおりである。

<令和3年度教科書の給与を受けた児童・生徒数>

(1) 小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国立・私立・公立	16,525	17,018	16,875	16,922	17,194	16,808
県立特別支援学校 (小学部)	119	150	137	142	149	110

(2) 中学校

	1年	2年	3年
国立・県立・私立・公立	16,829	16,522	16,365
県立特別支援学校 (中学部)	165	172	175

第2節 県立高等学校入学者選抜

1 現状と課題

令和4年度県立高等学校入学定員は、全日制14,440人、定時制440人、計14,880人で、前年度より160人の減である。

令和4年度県立高等学校入学者選抜実施要項に基づき、推薦入学は全学科において実施し、推薦枠は普通科が入学定員の20%以内、専門学科が30%程度（ただし、芸術、体育及び生涯スポーツ科は50%以内）、総合学科が30%程度である。ただし、高等学校長が特に必要と認める学科の推薦募集定員については、当該割合によらず、県教育委員会教育長と協議して定めている。

県立本部、久米島高等学校において連携型入学者選抜を実施した。定員200人に対して、98人が志願し、66人が合格した。また、県立与勝、球陽、開邦高等学校においては、与勝緑が丘中、球陽中、開邦中学校からの併設型中高一貫教育を実施しており、定員240人に対して225人が志願し、225人が進学決定している。

推薦入学願書受付は令和4年1月17日、18日の両日に行われ、志願者数は、全日制3,727人、定時制0人、計3,727人、合格者数は2,367人である。

一般入学願書受付は令和4年2月8日、9日の両日、志願変更及び再出願が2月21日、22日の両日に行われ、最終志願者は全日制11,176人、定時制138人、計11,314人である。推薦内定者を除いた定員枠に対する倍率は、全日制0.95倍、定時制0.31倍である。

学力検査は同年3月8日、9日の両日、県立学校及び離島出張検査場で実施した。学力検査教科は国語、理科、英語、社会、数学の5教科で、国語及び英語は聞き取り検査も実施している。配点は、各教科60点、総合点は300点である。

合格者の最高点は288点（前年度286点）であり、受検者の平均点は158.1点（前年度158.3点）である。

各教科の内申点は、5段階評定とし、学力検査を実施しない音楽、美術、保健体育、技術家庭の4教科は1.5倍の補正をしている。調査書と学力検査等の成績との比重は原則として5対5としている。ただし、高等学校長が特に必要と認める場合は、4対6から6対4の範囲内で教育長と協議して定める比重としている。

定員割れの学科において第2次募集を実施している。定員2,103人に対し、842人の応募があり、志願倍率は0.40倍である。第2次募集による合格者は767人である。合格者総数は13,594人となり、前年度より349人の増である。

通学区域は、普通科が教育事務所を基本単位として7通学区域であり、それ以外の学科はすべて県全域である。また、第2次募集の通学区域は普通科を含め、すべての学科で県全域である。

県立高等学校入学者選抜に係る課題等として次のことがあげられる。

- (1) 定員設定のあり方
- (2) 入学者選抜の改善（県立高校特色選抜導入に向けた準備等）

2 令和4年度県立高等学校入学者選抜状況（令和3年度実施）

全日制課程

学 科	募集 定員	連携・併設型		推薦入学		一般入学			第2次募集			追検査合格 (2次含む)	合格者 総数
		定員	合格者	定員	合格者	定員	志願者	合格者	定員	志願者	合格者		
普通科	8,240	240	128	1,882	1,444	6,668	6,630	5,870	797	460	419	20	7,881
農業科	880	40	4	260	75	801	655	583	218	32	22	6	690
工業科	1,640			494	140	1,500	1,277	1,185	314	85	71	9	1,405
商業科	1,440			432	218	1,222	1,074	1,017	205	94	91	7	1,333
水産科	120			36	13	107	79	75	32	5	6	1	95
家庭科	200			60	32	168	116	112	56	17	16		160
情報科	120			36	26	94	146	94	0	0	0		120
福祉科	80			26	8	72	61	54	18	4	2		64
その他の 専門学科	1,120	160	159	354	372	590	669	539	52	19	18		1,088
総合学科	600			180	39	561	469	445	116	76	72	5	561
計	14,440	440	291	3,760	2,367	11,783	11,176	9,974	1,808	792	717	48	13,397

定時制課程

学 科	募集 定員	推薦入学		一般入学			特別募集(うち数)		第2次募集			追検査合格 (2次含む)	合格者 総数
		定員	合格者	定員	志願者	合格者	志願者	合格者	定員	志願者	合格者		
普通科	160	32	0	160	66	66	2	2	94	25	23	2	91
農業科	80	24	0	80	25	30	2	2	50	15	18		48
工業科	80	24	0	80	8	10	0	0	70	2	3		13
商業科	120	36	0	120	39	39	1	1	81	8	6		45
計	440	116	0	440	138	145	5	5	295	50	50	2	197

通信制課程

学 科	一般募集		
	募集定員	志願者	合格者
普通科	330	240	236

専攻科（全日制）

学 科	募集定員	推薦		一般		第2次募集	
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
漁業科	10	2	0	14	10		
機関科	10	0	0	13	10		
無線通信課	15	12	4	17	11		
計	35	14	4	44	31		

3 高等学校等への進学率の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
進学率	94.3%	95.8%	95.5%	96.0%	95.8%	96.4%	96.5%	96.9%	97.4%	97.3%	97.5%	97.7%

第 3 節 高等学校卒業程度認定試験 及び中学校卒業程度認定試験

1 高等学校卒業程度認定試験

平成17年度より大学入学資格検定が高等学校卒業程度認定試験へと変更された。令和3年度は、第1回試験が8月12日(木)・13日(金)及び再試験(※)9月2日(木)・3日(金)の日程で沖縄コンベンションセンターにて実施された。第2回試験は11月6日(土)・7日(日)及び再試験(※)11月27日(土)・28日(日)の日程で、県立那覇商業高等学校にて実施した。結果は、次のとおりである。

(※新型コロナウイルス感染症の感染等でやむを得ず受験できなかった方が対象)

区 分	出 願 者	受 験 者	高卒認定合格者
沖 縄 県	280	250	82
全 国	20,215	17,704	8,097

2 就学義務猶予免除者の中学校卒業程度認定試験

令和3年度の就学義務猶予免除者の中学校卒業程度認定試験は、10月21日(木)に県教育庁会議室で実施を予定した。結果は、次のとおりである。

出 願 者	受 験 者	合 格 者	科目合格者
0	0	0	0

※科目合格者とは、受験した科目のうち一部の科目を合格した者

第4節 学力向上推進

1 現状と課題

(1) 現 状

本県は、子供たちに確かな学力などの生きる力を育むために、昭和63年度から学力向上の取組を推進しており、今年度で33年目を迎えている。

県教育委員会では、令和2年3月「沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ～学びの質を高める授業改善・学校改善～」を策定し、令和2年度より「自己肯定感の高まり」「学び・育ちの実感」「組織的な関わり」の3つの視点と「方策1 質的授業改善」「方策2 組織的共通実践」「方策3 発達の支援」「方策4 学校組織マネジメント」「方策5 学校連携・地域連携」の5つの具体的な方策を通して授業改善・学校改善を推進し、本県児童生徒に「新たな時代をつくるために必要とされる資質・能力」を育むため、学力向上に取り組んでいる。

家庭や地域においても、家庭学習を充実するための取組や「家～なれ～運動」等で、学習習慣や基本的な生活習慣を形成する取組が展開されている。

その成果として、「全国学力・学習状況調査」の教科における調査においては、小学校では全国平均正答率との差は-0.5ポイントで全国水準を維持、中学校では-4.9ポイントで緩やかな改善傾向が見られる。「児童生徒質問紙調査」では、学習に対する興味関心に関する質問、「将来の夢や目標を持っていますか」等の質問に肯定的に回答した児童生徒の割合が増加傾向にある。また、高校進学率の改善、県立高等学校の国公立大学等への現役合格者の増加などが挙げられる。今後も、学校における「わかる授業」の構築や家庭・地域における「基本的な生活習慣」の確立など、学校、家庭、地域、教育行政が一体となった取組を推進する必要がある。

(2) 課 題

諸学力調査等の結果から、基礎的・基本的な知識・技能の定着には一定の成果が見られるが、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成、家庭学習や朝食の摂取、家族団らんなどの学習意欲の礎となる事項等に課題があることが明らかになった。

上記を含め、充実を図る必要がある取組を以下に挙げる。

- 授業の質的改善と学校改善を推進する取組
- 学習意欲や目的意識を高める取組
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくりの取組
- 「幼・小」「小・中」「中・高」が連携した取組
- 家庭、学校における望ましい生活習慣と学習習慣の確立

2 事業実績

- (1) 学力向上推進本部会議の開催（年3回）
- (2) 沖縄県学力定着度調査（まなびのたしかめ）、沖縄県学力到達度調査の実施と結果の分析・考察、まとめの活用促進
- (3) 沖縄県学校質問紙調査、沖縄県児童生徒質問紙調査の実施と結果の分析・考察、まとめの活用促進（学校評価への積極的活用を促す）
- (4) 市町村教育委員会学校支援連絡協議会の開催（年3回）
- (5) 学力向上推進室訪問の実施（R03実績 小学校6校 中学校1校 計7校）
- (6) 学校支援訪問（R03実績 小学校86校 中学校49校 計135校）
- (7) 秋田県との教員人事交流事業（新型コロナウイルス感染症対策のため休止）

第5節 教育相談事業

様々な問題を抱え、解決の糸口を求めながらも、どうしたらよいかわからず悩んでいる人が増えている傾向にある。特に人間関係に関する相談が増えている。

児童生徒やその関係者が安心して相談できるよう、専門的に教育相談を行う必要がある。そのために総合教育センター教育相談室では、電話及び来所による相談を行っている。

1 教育相談研究室における教育相談事業

教育相談研究室では、教育上の諸問題に関する相談業務を小学校、中学校、高等学校のそれぞれの発達段階に応じて行っている。また、保護者や教師等の相談にも応じている。

○相談の対象：幼児、小学生、中学生、高校生、父母、教師等。

○相談の内容：学習の習慣、方法、つまずき等に関する問題。生活習慣、しつけ等に関する問題。いじめ、非行、金銭せびり等に関する問題。無気力、怠学、学業不振等に関する問題。友人関係、集団不適應等の問題。不登校に関する問題。進路の問題。生徒指導上の問題。家庭教育について。その他。

○相談の態様：◎来所相談・・・総合教育センターに来所の上、相談室での直接面接による相談。

◎電話相談・・・来所できない相談者のための電話を利用したの相談。

2 令和3年度相談事業のまとめ

<教育相談>

教育相談研究室では、総合教育センター事業の一つとして、児童生徒、父母、教師などから教育相談を受けている。令和3年度の相談件数、内容等は次のとおりである。

(1) 教育相談受理件数

() は比率

	電話相談	来所相談	学校訪問	計
園児	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
小学生	24(32.9)	1(1.4)	0(0.0)	25(34.2)
中学生	18(24.7)	2(2.7)	0(0.0)	20(27.4)
高校生	20(27.4)	5(6.8)	0(0.0)	25(34.2)
その他	2(2.7)	1(1.4)	0(0.0)	3(4.1)
計	64(87.7)	9(12.3)	0(0.0)	73(100)

(2) 相談内容

() は比率

相談内容	不登校	非 行	性格行動	学校生活	その他	計
園 児	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
小学生	11(15.1)	0(0.0)	1(1.4)	5(6.8)	8(11.0)	25(34.2)
中学生	14(19.2)	0(0.0)	0(0.0)	3(4.1)	3(4.1)	20(27.4)
高校生	16(21.9)	0(0.0)	0(0.0)	3(4.1)	6(8.2)	25(34.2)
その他	1(1.4)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.7)	0(0.0)	3(4.1)
計	42(57.5)	0(0.0)	1(1.4)	13(17.8)	17 (23.3)	73(100)

(3) 相談者内訳

() は比率

相談者	保護者	教 師	本 人	その他	計
園 児	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
小学生	23(31.5)	1(1.4)	0(0.0)	1(1.4)	25(34.2)
中学生	18(24.7)	2(2.7)	0(0.0)	0(0.0)	20(27.4)
高校生	17(23.3)	5(6.8)	0(0.0)	3(4.1)	25(34.2)
その他	1(1.4)	0(0.0)	1(1.4)	1(1.4)	3(4.1)
計	59(80.8)	8(11.0)	1(1.4)	5(6.8)	73(100)

(4) 相談対象者男女別

() は比率

	男 子	女 子	不 明	計
園 児	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
小 学 生	10(13.7)	14(19.2)	1(1.4)	25(34.2)
中 学 生	7(9.6)	12(16.4)	1(1.4)	20(27.4)
高 校 生	8(11.0)	15(20.5)	2(2.7)	25(34.2)
そ の 他	1(1.4)	0(0.0)	2(2.7)	3(4.1)
計	26(35.6)	41(56.2)	6(8.2)	73(100)

(5) 不登校の男女別内訳

() は比率

	男 子	女 子	不 明	計
園 児	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
小 学 生	5(11.9)	6(14.3)	0(0.0)	11(26.2)
中 学 生	5(11.9)	9(21.4)	0(0.0)	14(33.3)
高 校 生	4(9.5)	12(28.6)	0(0.0)	16(38.1)
そ の 他	1(2.4)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.4)
計	15(35.7)	27(64.3)	0(0.0)	42(100)

(6) 不登校についての相談（要因別件数）

要 因	幼 児	小学生	中学生	高校生	その他	計
いじめ	0	3	1	2	0	6
友人関係	0	3	1	6	0	10
教師との関係	0	1	2	1	0	4
学業不振、集団不適応	0	2	4	1	0	7
あそび・非行	0	0	0	0	0	0
無気力	0	0	1	0	0	1
情緒混乱	0	0	0	1	0	1
意図的な拒否	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	5	5	1	13
計	0	11	14	16	1	42

3 電話相談による教育相談事業

<親子電話相談>

家庭教育に関する悩みや不安を抱く保護者、友人関係で悩む子ども等への支援として電話相談を行っている。

令和3年度「親子電話相談」によせられた内容・件数等は次のとおりである。

(1) 月ごとの相談受案件数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	94	150	158	180	142	99	135	113	103	129	108	109	1,520

(2) 令和3年度内容別受案件数

内 容	件数	内 容	件数	内 容	件数
基本的な生活習慣	0	対人関係	18	虐待	1
子育て不安	97	異性・性	42	自殺	0
不登校・登園拒否	7	学業・進路	11	留守電	6
学校生活・園生活	95	家庭問題	66	無言	750
問題行動	1	経済問題	2	その他	55
いじめ	1	健康問題	368	計	1,520件

4 令和3年度障害児教育相談の概況

総合教育センター特別支援教育班においては、障害のある（疑いも含む）乳幼児、児童生徒の保護者や関係者に対して、養育や生活、就学や学習、進路などに関するさまざまな問題や悩み、また、障害に係る医療相談について、障害児教育相談を実施している。

特別支援教育班で実施した教育相談の実績は、次のとおりである。

(1) 障害児教育相談（来所相談・電話相談）統計（令和4年3月末現在）

① 相談区分別相談総数

区 分	相談回数・相談件数	備 考
電話相談	101回 (81件)	<ul style="list-style-type: none"> ・来所相談回数は来所のみで、受理面接等の電話による相談はカウントなし ・電話相談件数は電話のみの相談である
来所相談	25回 (20件)	
訪問相談	8回 (6件)	
合 計	134回 (相談件数107件)	

② 相談主訴別相談件数・回数

区分	相談主訴	養育	障害・発達の状況	就園・就学・転校	学校教育	早期教育	進路	視・聴・心理検査	言語機能訓練	学習指導法	その他	合計	備 考
	相談件数	3	31	11	18	1	3	6	2	4	28	107	各内訳は情報提供、連携も含む
	相談回数	4	38	12	25	1	4	6	4	4	36	134	

③ 年齢・学校等別相談件数・回数

区分	年齢等	乳児・幼児		小学生	中学生	高校生	18歳～	その他・不明	合計	備 考
		0～3歳	4～6歳							
	相談件数	3	5	46	24	23	1	5	107	他機関からの問い合わせ等はその他でカウント
	相談回数	3	6	59	30	30	1	5	134	

④ 他機関との連絡・連携（紹介を含む）総数

機関名 区分	病院	療育施設等	市町村役所	福祉保健所	児童相談所	地域支援センター	県教育委員会	市町村教育委員会	大学	学校（幼小中高特保）	障害者職業センター	企業等	その他	合計	備考
相談件数	2	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	9	
相談回数	2	1	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	1	10	

⑤ 障害別相談件数・回数

障害内訳 区分	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	言語障害	情緒障害	発達障害	発達障害疑い	不明	合計	備考
相談件数	1	1	7	4	3	3	8	13	27	40	107	重度重複は主障害でカウントする
相談回数	1	1	9	4	4	6	8	14	30	57	134	

(2) 障害児教育相談＜地域教育相談員による相談＞統計

① 相談区分相談総数

区分	相談件数	相談回数	備考
電話相談	6,152	4,121	電話のみによる相談
来校相談		3,011	相談者が相談員の勤務校に来て行う相談
訪問相談		1,044	相談員が依頼文書を受けてその場所に向向いて行う相談
合計		8,176	

② 相談主訴別相談件数・回数

区分	相談主訴	養育	障害・発達の状態	就園・就学・転校	学校教育	早期教育	進路	視・聴・心理検査	学校見学	体験入学	児童生徒への指導	校内研修への参加	コンサルテーション	実践研究	その他	合計
相談件数		229	466	1,284	270	219	960	98	171	250	489	11	232	11	1,462	6,152
相談回数		350	583	1,532	348	454	1,111	114	228	285	655	12	293	11	2,200	8,176

③ 相談対象年齢・学校等別相談件数・回数

区分	年齢等	乳児・幼児		小学生	中学生	高校生	18歳～	その他・不明	合計	備考
		0～3歳	4～6歳							
相談件数		173	828	1,588	1,560	1,435	169	399	6,152	他機関からの問い合わせ等はその他でカウント
相談回数		369	1,010	2,011	2,115	2,040	184	447	8,176	

特別支援教育相談＜地域教育相談員による相談＞統計は、H19年度特別支援教育がスタートしたことにより統計方法を、以下のように変更したため、H18年度以前と大きく変わっている。

(※令和元年度から※特別支援教育相談:障害児教育相談、地域教育相談員:障害児就学相談員に名称変更)

ア 各障害児就学相談員の相談のみではなく、各特別支援学校の教育相談状況の把握である。

イ 地域の相談のみならず、学校内の相談でも他機関とのケース会議等を実施したものは、カウントする。

ウ 障害児就学相談員のみをカウントするのではなく、校内全職員が相談したものを各部署に同じ様式を配布し、カウントの仕方を伝え、特別支援学校としての相談実数を統計し、報告する。

エ 電話相談で受け付けたあと、来校や訪問相談に繋いだ場合は、電話相談からカウントを差し引き、来校や訪問でカウントする。